

### 第36回RMクラス 第24回Fクラス 全日本選手権大会レース概況

RM・JFクラス 全日本選手権大会が、10月7,8日の二日間にわたり、東は東京、西は九州福岡と、全国から精鋭13名が集まり、愛知県刈谷市の洲原池で開催されました。

両日とも、晴天に恵まれ、風速は、0~3m/secとやや微風ながら、各クラス11レースを行いました。

結果は、RMクラスの優勝は、地元中部の岡田芳明選手が得意の軽風を手堅く掴み、2連覇（通算5度目）を達成されました。

準優勝は、ベテラン九州福岡から参加された松島修選手、3位は、最近各クラスともコンスタントに上位入賞されている平尾南雄選手でした。

JFクラスは、最終レースまでもつれ、自称Fクラス保存会会長の池田成利選手も、2連覇（通算5度目）を達成されました。

以下、準優勝は惜しくも1点差で池島選手、3位には関東のベテラン川本日出雄選手が入賞されました。

来年の、池・池対決が今から楽しみです。

私は、ここ2~3年プロテスト委員として大会運営をお手伝いし、毎回、ルールに基づいた公平な判定を心がけていますが、今回は特に印象深い大会でした。

と、いうのも、JSAFから、ルール委員会の田中正昭さんが、レースの視察に来られました。田中さんは、来年改正されるセーリング競技規則の翻訳を担当され、A級ナショナルジャッジ・ナショナルアンパイアの資格を持たれた、ルールの神様のような方です。そんな訳で私のジャッジ能力を評価されるようで緊張の連続でした。

幸い、大きな指摘もなく、大会を終わりましたが、いろいろお話する中で、私が思い違いをしていた項目が何点かありました。過去の結果に影響するような問題ではありませんが、追々ご説明し、改めて行きたいと思います。

2012年 10月 9日

兵藤 記